

### 「小さな自分」のお気に入りの場所を紹介

第3学年図工科（日本文教出版）「小さな自分」のお気に入りでは、あらかじめ撮影した「自分」を用いて小さくなった自分の楽しい場所を探す活動をした。

#### ICT活用のポイント

タブレットのカメラ機能を使用することで、自分の楽しい場所を客観的に見つめることができる。データ化することで友だちとの鑑賞時に役立つ。

タブレット・Wi-Fi環境によっては、撮影後に教師へ提出ができるので、修正が必要な児童には教師がどこにいても指示が出せる。また、児童の作品の進捗状況を確認できるので、デジタルカメラを使用した時に比べて、教師のできること、管理できることが増える。

ロイロノートなどの限定して提出できるソフトがあれば、グループでの交流だけでなく、離れた友だちとの作品交換も容易にできる。

これまでの鑑賞活動では、作品を固定し、児童が移動する形をとっていたが、タブレット上で見る作品を変更できるので、児童の移動を減らしたい時などには有効だと考える。

#### 撮影する

タブレットの使用を苦手としている児童のためにグループに分かれて撮影をおこなった。



#### 鑑賞する

鑑賞時にはパソコン室を使用し、作品を掲示した状態で、子供たちが移動する形をとった。



### 鑑賞の学習における活用場面

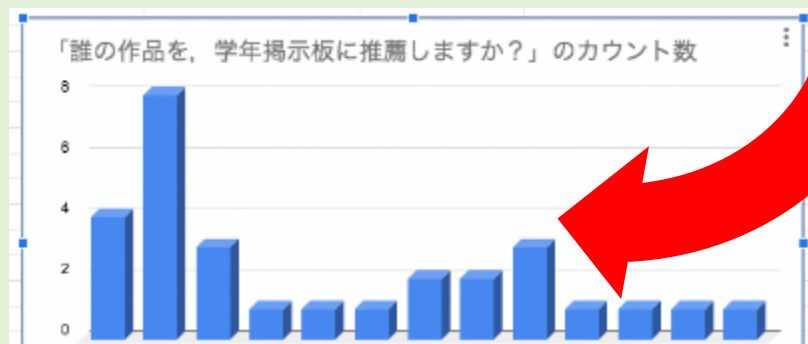
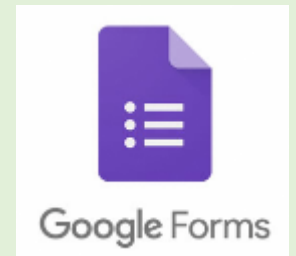
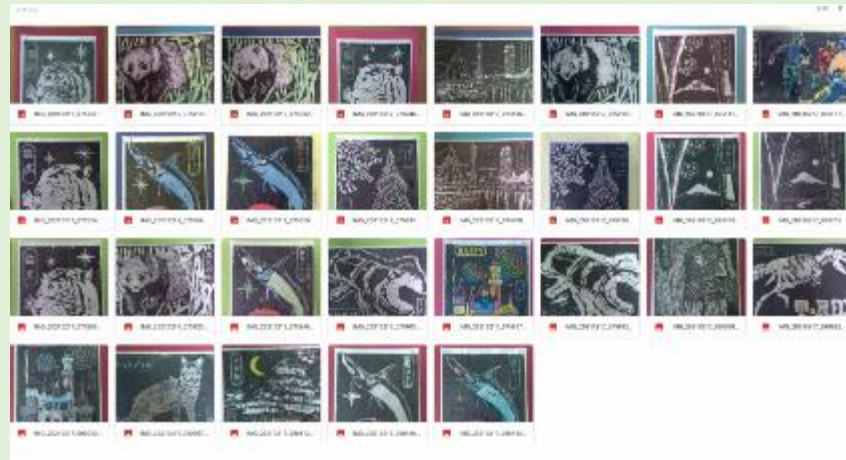
感じたことや想像したことなどを造形的に表す表現や、作品などからそのよさや美しさなどを  
感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める鑑賞の学習過程において、ICTを活用する  
ことが考えられます。

<小4・木版画>

#### ICT活用の ポイント

・学級全員の作品を写真  
に撮って共有しました。

・実物を見せるだけでは  
なく写真に収めた作品に  
も触れさせることで、PC  
上で細部まで鑑賞させる  
ことができました。



#### 4-1\_図工-投票

版画の完成、おめでとう！

\*必須

おなまえ(ひらがなで)\*

回答を入力

だれの作品を、推せんしますか？\*

最後に  
学年の掲示板に  
貼るクラス代表は  
誰の作品がよいか  
投票させました。